

## 令和4年度 第1回 伊万里市上下水道審議会議事録

1. 日 時：令和5年2月3日（金） 15時00分～16時00分
2. 開催場所：立花コミュニティセンター 講堂
3. 出席者：
  - (1) 委員：力武委員、山口委員、小島委員、本田委員、松尾委員、前田成利委員  
吉岡委員、前田鈴子委員、杉原委員、栗田委員  
(木寺委員、吉富委員は都合により欠席)
  - (2) 事務局：深浦市長、岩崎部長、末石管理課長、松尾水道施設課長、吉富下水道施設課長、加藤管理副課長(兼)総務係長、立川水道施設副課長(兼)水道維持係長、林営業係長、松本企画財務係長、畠山水道工務係長、畑島浄水1係長、鶴田下水道工務係長、松田総務係員、中村企画財務係員
  - (3) 傍聴者：なし
4. 内 容：
  - (1) 開会
  - (2) 伊万里市長のあいさつ

皆さん、改めましてこんにちは。ほんとうに早いもので令和5年も始まって1ヶ月過ぎました。この間に、伊万里市においては、まず成人式ですね、今年から二十歳の集いという風な名称に変わっておりますが、こちらが終わりました。その後、ハーフマラソン、全国から2000人ちょっとおみえになったということです。また、先週は東西松浦駅伝ということもありまして、事業的なことについては、コロナ禍であっても進めていきたいという風に考えています。

そういった中で、今日は、上下水道審議会ということで、委員の皆様については、出席いただきましてありがとうございます。

前回までは、水道審議会という風なことで、水道に対する色々なご審議をしていただくということでしたけれども、平成31年度に下水道が水道と一緒にになりまして、企業会計になり、上下水道部という風になっております。私も、水道だけではなくて、上下水道っていうのは、料金体系については連動しているわけです。また、考え方も同じような考え方でもあるし、という風なことで、水道審議会の方に、下水道の方についても合わせてご審議していただきたいという風なことで開催いたしまして、上下水道審議会ということになっております。今回は、下水道についてまでということで、皆様には色々とお世話になると思いますがよろしく願いいたします。

そして、今年、正月から天気が非常に良かったということがあり、先週ぐらいは、十数年ぶりの寒波という風になっています。水は蛇口をひねると出るというのが通常の皆さんのお考えだと思いますが、雨が少ないと水不足を心配するというのも水道の仕事でありますし、先週みたいな大寒波が来ると、漏水箇所が増えるんじゃないかとか、テレビで色々あっていますね。水道が出ない、トイレが使えないという風なことになります。

伊万里市でも、6年か7年前にこの大寒波の時はかなりのところで漏水がありまして、水が不足するという風なこともありました。それで、今回については、その経験を活かし、事前に漏水箇所を把握した上で対応する、という風なことを行いましたので、ほとんど大きな事故なく、今の寒波を乗り切っているものと思いますが、まだまだ冬が続きますので、寒い時期については、これからも水が止まらないよ、という皆さん方のご心配ないようにしていきたいという風に思っております。

そして今日は、先ほど言いましたけれども、水は蛇口をひねると出るという地区の方ばかりだと思いますが、実は伊万里市にはまだ水道がない地区もあります。例えば大平山地区の、深山地区と言いますけども、ここについては、水道がありません。また、市が運営している水道でありますけども、それ以外に民間でやられている水道というのも実はあります。

例えば、山代地区について非常に多いんですが、久原一区とか久原二区とか久原三区とかいうところについてはですね、自分たちで水道をお持ちのところもあります。ただ、今言いましたように大平山とか山代町の東分や久原三区、波瀬って言った方がわかりやすいかと思いますが、そこについてはですね、水道の担い手不足とか水源が不足しているという風なことで、伊万里市の水道に繋いでほしい、という風な要望があっております。伊万里市としても水道を繋いでいくという風なことで、現在、進めているところであります。

水道については、皆さん方も、人口が減っていることはご存知だと思いますが、当然水道の使用量が減れば、料金も減ってくるという風な中で、伊万里市の水道は九州で4番目にできました。そういう風な形で、早くできているということは、逆に言うと、老朽管が非常に多いということの裏返しでもあります。その老朽管を、取替をしながら、未普及地区や民間の地区などを統合しながらしていくという風なことで、経費も非常にこれからかかってくるものという風に思っています。

今日は、特別に各料金値上げ等のご審議をしていただくという風なものはありませんけども、今言いましたようなことを踏まえまして、これから10年間の伊万里市の水道、下水道の計画、また収支についてご報告をさせていた

だいて、皆様方からのご意見を伺いながら、これからの市の上下水道のあり方について、検討していきたいという風に思っております。

今日おいでの皆様方については、伊万里市の上下水道についてご審議いただければと思っております。それから、もう1つ、ぜひ一度伊万里市の水道施設等について、上水道でいいますと有田川浄水場が今かなりもう別につくり変えています。そういう風な所についてとか、下水とか、工業用水道もありますので、そういうところについても一度皆さんに見ていただきたいという風に思っております。

今日は、今言いましたような形での、収支計画等についてお話をさせていただきたいと思っておりますので、皆様方からの忌憚のないご意見をお願いいたします。私からの挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。

### (3) 会長の選任及びあいさつ

- ・委員が力武委員を推薦し、出席の全委員の了承を得る。

#### 【会長のあいさつ】

皆さん、こんにちは。ただいま会長を仰せつかりました力武と申します。どうぞよろしくお願いたします。

先ほど、市長さんの方からも色々お話がございましたけども、水道につきましては、市民生活に一番身近な、そして重要なライフラインでございます。また一方で、下水道の方も、市民生活を快適に送るための環境の確保と言いますか、あるいは河川とか海域の、公共水域の水質の保全とか、色んな重要な役目がございます。そして、先ほどの話がありましたように、1日も不足することができない、非常に重要なですねインフラでもございます。

そういった中で、この2つの事業について、先ほど事業の管理者である市長さんの方からですね、重要な案件とか、事項について審議をしてくれという諮問があった時に、この審議会ですんなり詳細を審議するという風に、進めていければなと思います。そういったことで、今後の審議会の運営につきましては、皆様方のご協力を、どうかよろしくお願いたします。

### (4) 副会長の選任及びあいさつ

- ・委員提案により事務局一任となったため、事務局案として、副会長に山口委員を提案し、出席の全委員の了承を得る。

#### 【副会長のあいさつ】

山口でございます。よろしくお願いたします。水道事業と下水道事業というものがございます。これらの項目について、しっかりと審議をしていかなければ

ればならないと思っております。何分私もこういうことは初めてでございますので、少しでも力武会長のサポートをできればと思っておりますので、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## (5) 報告事項

### 会長による議事進行

#### (1) 水道事業における報告事項について

① 管理課長より令和3年度水道事業特別会計決算、令和4年度水道事業特別会計決算見込みについて説明（審議会資料 P2-4）

② 企画財務係長より水道事業における収益的収支の今後の10年間の見通し、水道事業における今後10年間の主な工事内容について説明（審議会資料 P5）

#### ・会長より

令和8年度から収益的収支の差引がマイナスとなっておりますが、人口が減るので仕方ないと思うが、企業誘致での増設に伴い従業員用アパートなどが計画されているが、そういったことでの需要の増も見込んであるのか。10年間の見通しなので、かなり厳しめに見積もって計算されてあると思うが、そのあたりはどうなっているのか。

#### 【事務局】

企業増設がされていますが、どれくらい人口が増えるかなどは見込みづらいつころになっていきますので、収入については固めに見込ませていただいております。

#### ・会長より

先ほどの市長のあいさつにもありましたように、昭和3、40年代、50年代にかけて集中的に拡張事業をされてきたと思いますけど、今後はそういった拡張による需要増は見込めず維持管理の時代になってくると思います。そういった中で、先ほど説明がありましたように、水道の未普及地区もありますし、山代の方の民営の簡易水道を市の水道に統合していくという課題もありますので、それと合わせて老朽管の整備とか、今後はやはり支出においてはかなりみていかないという中での見通しだと思いますけど、そういった中でやっていかなければならないという感じがしますので、よろしくお願いいたします。

#### (2) 下水道事業における報告事項について

① 管理課長より下水道の概要、令和3年度下水道事業特別会計決算、令和4

年度水道事業特別会計決算見込みについて説明（審議会資料 P7-11）

- ② 企画財務係長より下水道事業における収益的収支の今後の 10 年間の見通し、下水道事業における今後 10 年間の主な工事内容について説明（審議会資料 P12）

・会長より

下水道事業の今後 10 年の見通しにつきましても、厳しく見積もってはありますけど、令和 10 年度くらいには収支が赤字となっています。これも水道と同じで、下水道についても施設を作って終わりではありませんので、これを永続的に持続させなければいけないということでもあります。当初に設置されたものはもう 30 年以上経っていると思いますが、そういった中で施設の更新が迫ってきますので、知恵を絞りながら事業をやっていかなければならないというところでございます。収益的収支が赤字になったからすぐ料金改定ということにはならないと思いますけれども、企業債など色々な要素を踏まえて料金の見直しということにはなるとは思いますけれども、できるだけそういうことをしなくていいようにやっていてもらいたい。ただどうしても収益が見込めないというような状況になったときには、料金の見直しを行わなければならないという風になるかと思えます。

・副会長より

現在、水道料金・下水道使用料について、未納はあるのか。未納がある場合は、どのくらいあるのか。また、どのように未納分の回収をしているのか。

【事務局】

未納については若干ある。令和 3 年度決算を基に説明すると、収納率について、水道は 98.36%、下水道については 97.98%となっています。徴収方法については、口座引き落としは毎月 26 日に引き落としをさせていただき、引き落としが出来なかった場合は、翌月 10 日に再振替をさせていただいております。もう一つは、納付書で毎月、月末期限でお願いしております。お支払いが確認できない場合、翌月に督促状をお送りしております。それでもお支払いいただけない場合につきましては、停水予告通知を発送しています。予告通知を出した月の月末までにお支払いをお願いしております。そして次のステップとして、停水通知を出して、通知を出した月末に職員が訪問し、停水措置を行い、徴収率の向上に努めています。

(6) その他

【事務局】

市長の話にもあったが、来年度は施設見学などを行うためにも、できるだけ早い時期に開催をしたいと思っています。